



吉川市立吉川中学校  
2020年4月開校

# 春夏秋冬



「考える 蓄える 伝える生徒」  
令和8年度 4月号

〒342-0038  
住所 吉川市美南 5-17-1  
電話 048-984-7565

生徒数 4月8日現在  
1年生 292名  
2年生 279名  
3年生 253名  
合計 824名

## 『考える 蓄える 伝える生徒』

校長 伴野 忠

麗らかな春の日差し、咲き誇る桜、そして風薫る素晴らしい季節となりました。そのような中、本校は新たに292名の新入生を迎え、全生徒数824名で令和8年度の教育活動が始動しました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学・進級、誠におめでとうございます。

早いもので吉川中学校はコロナ禍の令和2年に開校し今年で7年目に入りました。学校規模は毎年拡大し、いまやほとんどの教室を使用しないと収まり切らない状況ですが、学校は生徒の声や笑顔で常に満たされ、まさに活気に満ち溢れ勢いのある学校となりました。きれいな校舎、整った最新の設備、真剣な授業で今年も子どもたちをよりよく育てていきたいと思えます。

さて、標題は本校の学校教育目標です。自分らしく、たくましく未来を切り拓くことができる人材の育成のために創られた学校教育目標です。

令和8年度の教育活動を始めるにあたり、3つのことばについてそれぞれ具体化したものを吉川中の全教職員で共通理解を図りました。

- 『考える』・・・「自らの考えを持ち行動する」・「自ら課題を見つけその解決に向けて挑む」  
「他者の考えを受け止め、自らの考えを広げる」  
『蓄える』・・・「自己肯定感を高め、夢や志の実現に向かう力蓄える」  
「体験や経験から学び、考える力を蓄える」・「健康な身体と健全な心を蓄える」  
『伝える』・・・「自分の意思を伝え実行に移す」・「悩みや不安に負けない心の強さを持つ」  
「良さを見出し、取巻く人や地域に伝える」  
「郷土の文化や伝統を誇りとし、それを大切に伝承する」

1つの正解とは限らない多種多様な現代の課題に対応するには、これまで教わった知識を活用し正解を創り上げていく能力が必要となります。授業においても受動型から思考する能動的なものへと改善し、『考える』力を育みます。また、今後ますます先行き不透明な時代になるといわれています。生徒たちには、どんな未知な状況にも対応できるようなたくさんの『引き出し』=『力』を『蓄える』必要があります。そして、正解を創り出したり、実行していく過程には他者へ正確に自分の考えを『伝える』力も必要となります。

中学校3年間は、とても多くのことを吸収できる時期であり、且つ、人格を形成するうえで大変重要な時期と考えています。将来幸せな人生を歩むことができるよう吉川中学校全教職員がこの自覚のもとベクトルを同じくし今年度も教育活動を展開していきます。

保護者・地域の皆様におかれましては、令和8年度も吉川中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

吉川市教育大綱 「 家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として生きてゆく 」

